

20代・30代の“若者・フリーター”を徹底解析

若者しごとと白書

2018

ハイクラス
PRODUCTION Leverage

若者しごと白書

2018

はじめに.....03

1	自己認識.....05
	自分の性格.....05
	最終学歴.....05
	出身高校.....06
	卒業後の進路.....06

2	情報収集について.....08
	新聞について.....08
	ニュースサイト.....08
	ラジオ.....09
	利用しているSNS.....09
直近1カ月の休みの過ごし方.....09	

3	恋愛について.....11
	恋人の有無.....11

4	仕事(アルバイト)について.....13
	経験したアルバイトの業種.....13
	アルバイトの平均月収.....13
	1週間の平均勤務日数.....14
	1日の平均労働時間.....14
	アルバイトで身についたスキル.....15
	思い描く上司の理想像.....15・16

5	親(同居)について.....18
	親との同居について.....18

若者しごと白書

2018

6	フリーターについて……………20
	フリーターになったきっかけ……………20
	フリーターとしてのメリット……………20
	フリーターとしてのデメリット……………21
7	正社員について……………23
	正社員経験の有無……………23
	就職方法……………23
	経験職種……………24
	正社員として働いた期間……………24
	3年以上働き続けられた理由……………25
	正社員の仕事を退職した理由……………25
	正社員の仕事を退職直後、 どのような行動を取ったか……………25
8	就職について……………27
	現在の就職活動の状況……………27
	現在志望している業界……………28
	就職先の探し方……………28
	就職の際に最も重要視している条件……………29
	就職活動で不安に思っていること……………30
	面接で最も不安に思っていること……………30
	面接で最もアピールできそうな経験……………31
	企業が見ている評価ポイントは どのようなものだと考えているか……………31
	就職活動前に1番身に着けたいこと……………32
	就職先で実現したいこと……………32
	就職時のモチベーション……………33
	正社員になるポジティブなイメージ……………33
	正社員になるネガティブなイメージ……………33
	企業の評判を判断するとき、 どの情報を最も信頼するか……………34
	ブラック企業のイメージ……………34
	まとめ……………35・36

はじめに

Introduction

フリーター※1は、年々増加傾向に

非正規で働いている若者の増加率は、1994年から2018年の24年間で年々増加し、2018年2月時点で2,036万人にのぼります※2。しかし、厚生労働省が発表した2018年の調査によると有効求人倍率は上昇しており※3、2017年度は1.59倍と1937年度に次いで過去2番目に高い水準です。労働者にとっては就職しやすく、失業者数も減少傾向にあると言えます。

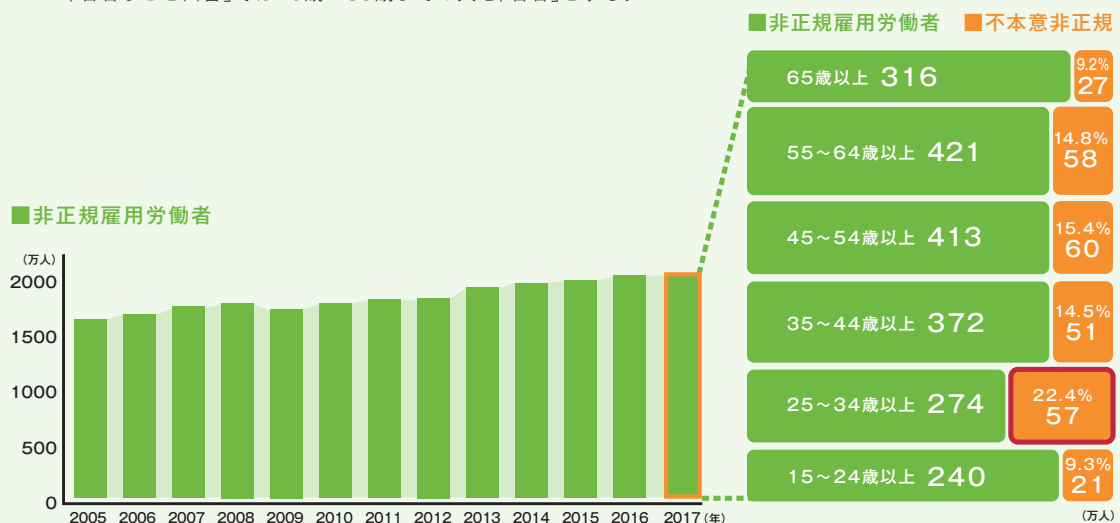
フリーターは就職を希望しているのか？

「若者しごと白書」では、若者やフリーターの人々はどんなライフスタイルを送り、就職や仕事についてどう考えているかを考察します。第1章から第3章では「自己意識」から「恋愛」まで20代・30代男女のライフスタイルを把握し、第4章ではこれまで経験した仕事や働き方、第8章では就職への意識や就職活動を把握します。

フリーターは正規雇用比べて雇用が不安定な上に賃金が低く、賃金格差は30代後半から大きく広がる傾向があるため、格差が少なく比較的就職しやすい若年層のうちに、早めに正社員転換を進めていくことが必要か考察します。

本レポートでは、いまの若者フリーター※4の現状や仕事に対する志向性について考察をしていきます。若者・フリーターが活躍できる社会へ、日本社会が発展していく一助となれば幸いです。

- ※1 アルバイト・パートタイマーで生計を立てている、もしくはアルバイト・パートタイムで働く意志のある無職の人
- ※2 2018年2月公開 総務省統計局 「労働力調査(詳細集計)」
- ※3 2018年2月公開 厚生労働省 「一般職業紹介状況(平成30年6月分)について」
- ※4 「若者しごと白書」では20歳～39歳までの人を「若者」とする。



(資料出所)総務省「労働力調査(詳細集計)」(平成27年平均)※「不本意非正規」:現職の雇用形態(非正規雇用)についての主な理由が「正規の職員・従業員の仕事がないから」と回答した者。

1

自己について

自己の性格の認識

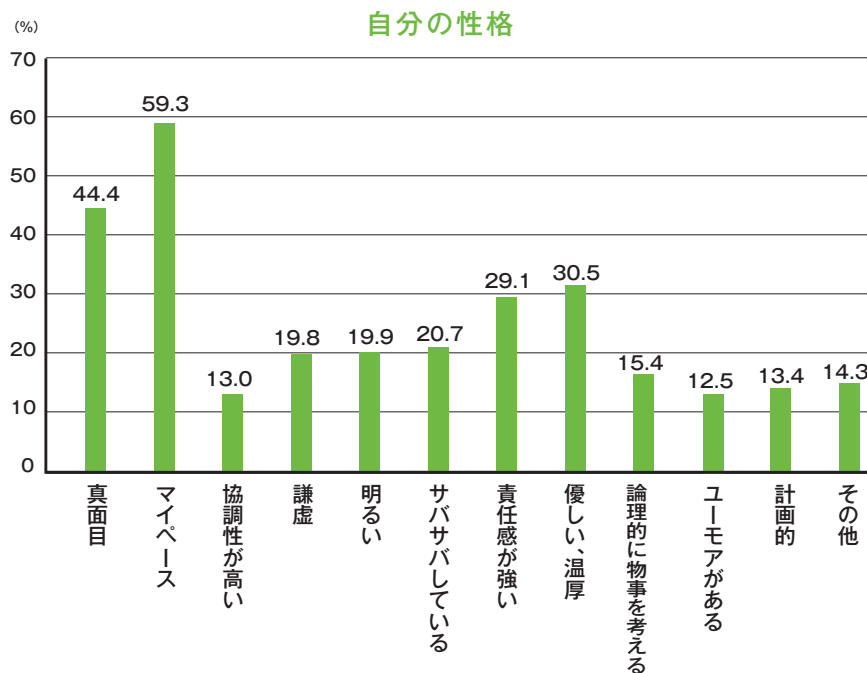
最終学歴について

出身校について

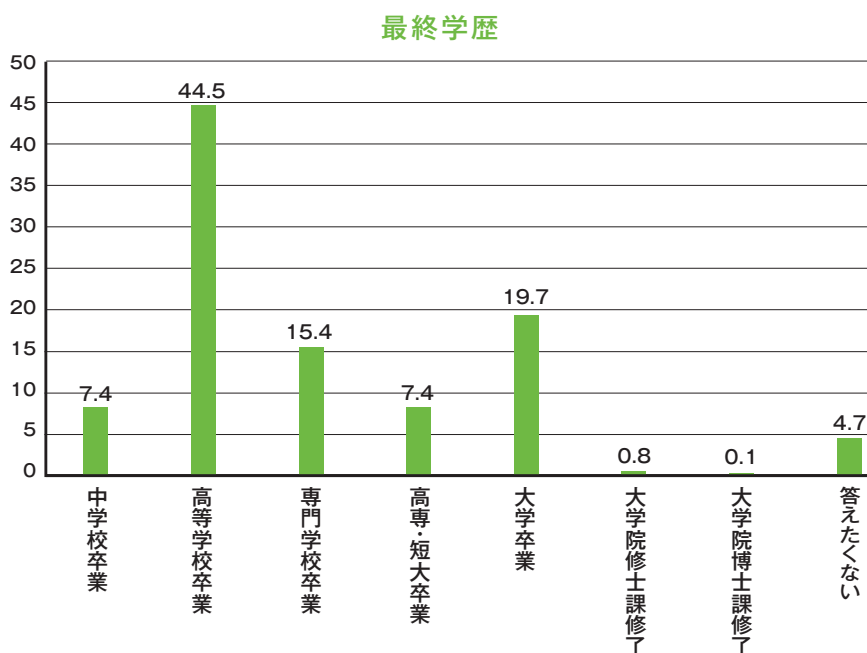
卒業後の進路について

1. 自己認識

自身の性格をマイペースと答えた若者は約60%と半数を超え、若者の最終学歴は、高等学校卒業が44.5%と大学卒業を上回りました。高校卒業後の進路では、大学進学した若者は約30%で1位となっていますが、何らかの理由で中退し、フリーターになった人が一定数存在しています。



自分自身のことをマイペースと認識している人は半数以上で1位となりました。

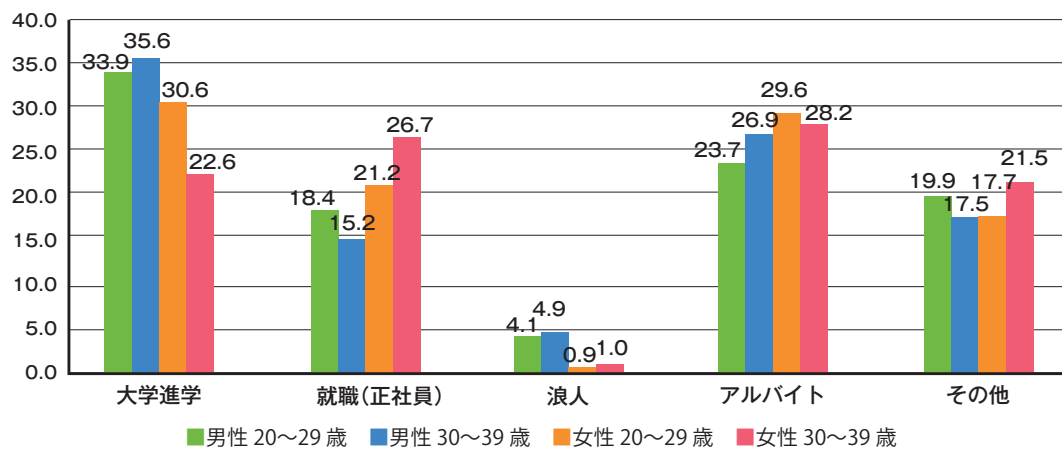


出身高校

普通科	工業科	商業科	農業科	家庭科	スポーツ科	音楽科	総合学科
61.5%	4.3%	8.9%	2.2%	2.5%	1.0%	0.6%	14.5%

最終学歴では高等学校卒業者が半数を超え、大学卒業の割合は19.7%という結果となりました。大学進学をしても、中退をしてしまう若者が一定数いるようです。また、出身高校の半数以上が普通科を卒業しています。

あなたの高校卒業後の進路について教えてください。



20代・30代の男女ともに、高校卒業後の進路は大学進学をしています。

2

情報収集や休日の過ごし方について

新聞

ニュースサイト

ラジオ

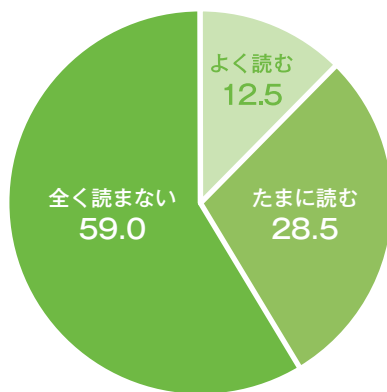
SNS

休日の過ごし方

2. 情報収集について

新聞で情報収集する若者は少なく、スマートフォンで情報収集することが一般的のようです。休日の過ごし方についても、「買い物をする」が1位となりましたが、「LINEをする」「YouTubeを見る」が2位、3位と上位にランクインしており、若者のスマートフォンに対する依存が考えられます。

普段新聞を読むか？



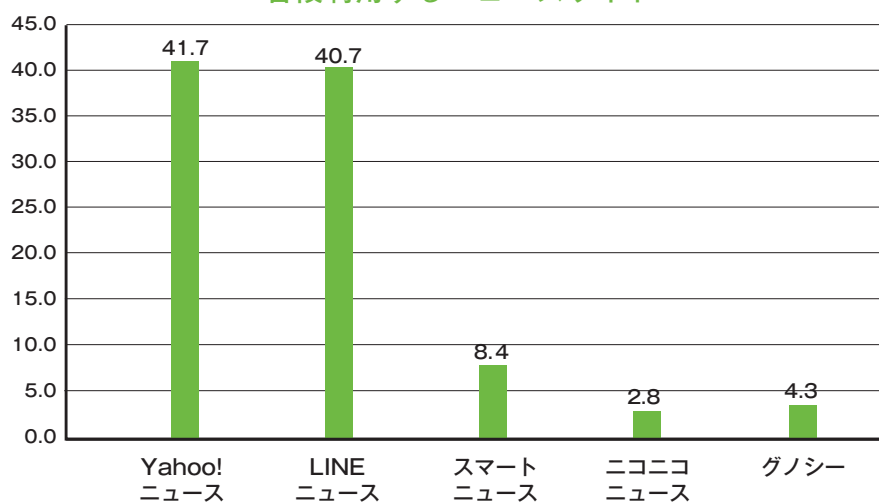
読んでいる新聞

(新聞をよく読む/たまに読むと回答した人)

1位	読売新聞	24.7%
2位	朝日新聞	16.4%
3位	毎日新聞	9.5%
4位	日本経済新聞(紙面)	3.1%
5位	日本経済新聞(電子版)	2.0%
6位	日本経済産業新聞	1.7%
	当てはまるものはない	49.8%

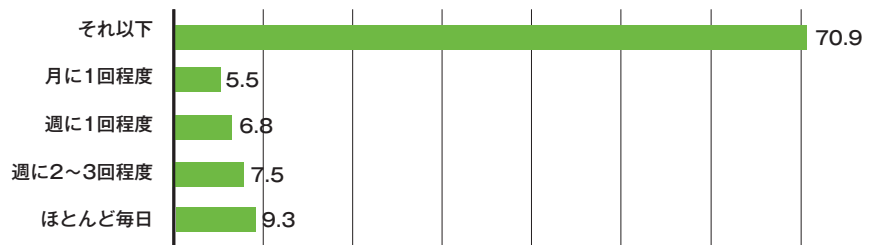
新聞を「全く読まない」と回答した若者は59.0%と半数を超えました。新聞を読む若者はかなり少なく、新聞で情報収集をすることに関して積極的ではありません。

普段利用するニュースサイト



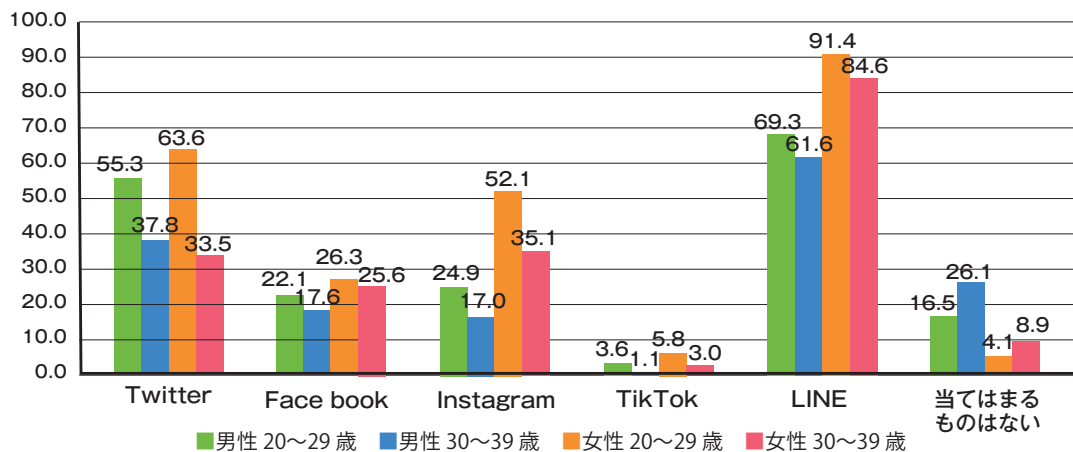
若者が利用している主なニュースサイトは「yahoo!ニュース」「LINEニュース」が1位・2位という結果になりました。

ラジオを聴く平均頻度



若者は普段ラジオを聴かないようです。

あなたが普段利用しているSNSを教えてください。



20代・30代の男女ともに約80%がLINEを活用しています。

直近1ヶ月の休みの過ごし方(複数回答可)

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1位 買い物に行く.....64.9% | 15位 カラオケに行く.....13.8% |
| 2位 Youtubeを見る.....58.6% | 16位 Instagramを更新する.....13.2% |
| 3位 LINEをする.....55.8% | 17位 旅行に行く.....10.8% |
| 4位 テレビを見る.....54.8% | 18位 勉強をする.....9.8% |
| 5位 ゲームをする.....48.6% | 19位 ライブやコンサートに行く.....9.1% |
| 6位 料理をする.....34.0% | 20位 温泉に行く.....7.8% |
| 7位 アニメ鑑賞をする.....24.4% | 21位 スポーツやヨガをする.....7.4% |
| 8位 読書をする.....22.8% | 22位 当てはまるものはない.....4.9% |
| 9位 散歩をする.....22.8% | 23位 エステサロンに行く.....3.5% |
| 10位 Twitterを更新する.....21.5% | 24位 ボウリングに行く.....2.1% |
| 11位 雑誌を読む.....21.3% | 25位 握手会に行く.....1.2% |
| 12位 カフェに行く.....20.2% | 26位 ダーツに行く.....1.1% |
| 13位 ドライブする.....20.0% | 27位 キャンプをする.....0.7% |
| 14位 映画に行く.....14.5% | |

休みの日は、買い物に出かけている人が約65%を超えました。

3

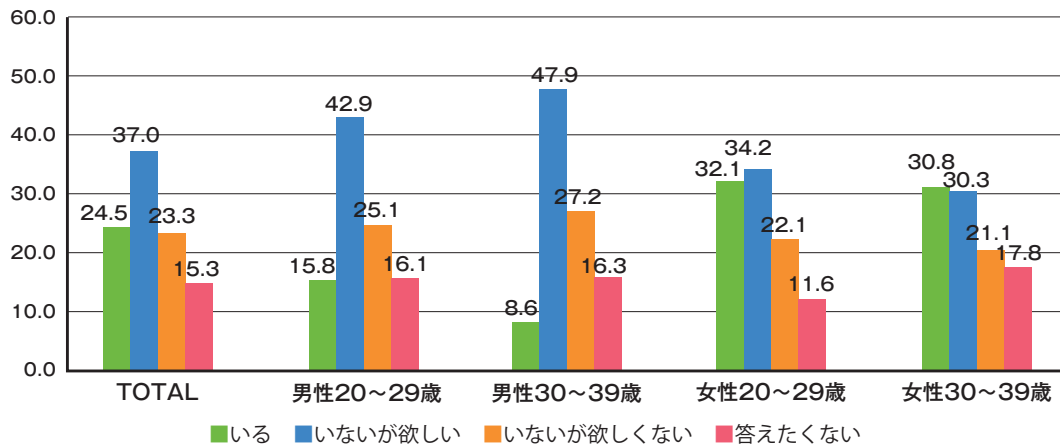
恋愛について

恋人

3. 恋愛について

今どきの若者は、恋愛に対して関心が薄れていることはないようです。恋人の有無に関して「現在は交際相手はいないが、欲しい」と答えている人は多く、恋愛にも前向きなことが見受けられました。

あなたは現在恋人がいますか



「恋人はいないが欲しい」という回答が総合的に1位になっており、恋愛に積極的なことが見受けられます。

4

アルバイトについて

経験したアルバイト業種

平均月収

平均勤務日数

平均労働時間

身についたスキル

思い描く上司の理想像

4. 仕事(アルバイト)について

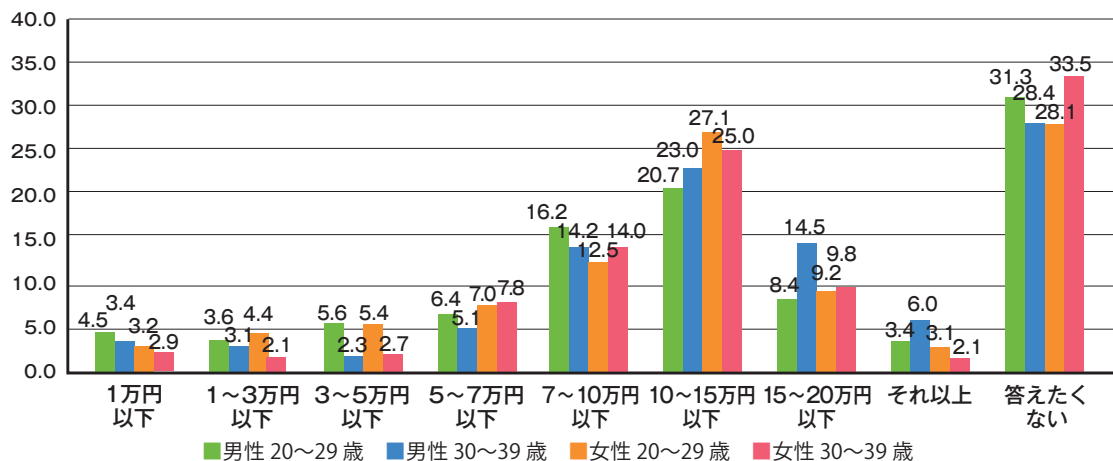
若者の半数以上はアルバイトで接客業を経験しており、週に5～6日勤務が平均です。1日の勤務時間は6時間～8時間未満が平均となっており、平均月収は10万～15万以下となりました。

経験したアルバイトの業種

1位	接客業(コンビニ・スーパーマーケット・カフェ・カラオケ・ファーストフード店など)...	51.8%
2位	仕分け・梱包・製造.....	24.3%
3位	飲食店での厨房・キッチン業務.....	20.7%
4位	当てはまるものはない・答えたくない.....	16.5%
5位	事務.....	12.0%
6位	販売業務(携帯ショップ・家電量販店・アパレル販売など).....	11.3%
7位	ナイトワーク(ホストクラブ・キャバクラ・風俗など).....	7.4%
8位	イベント・キャンペーンスタッフ.....	6.4%
9位	ホテル・旅館.....	5.3%
10位	アミューズメントパークスタッフ.....	4.2%
11位	コールセンター.....	3.7%
12位	建築・土木.....	2.8%
13位	引っ越し業者.....	2.7%
14位	家庭教師・塾講師.....	2.4%
15位	新聞配達.....	2.1%
16位	ウェディング関係.....	1.7%

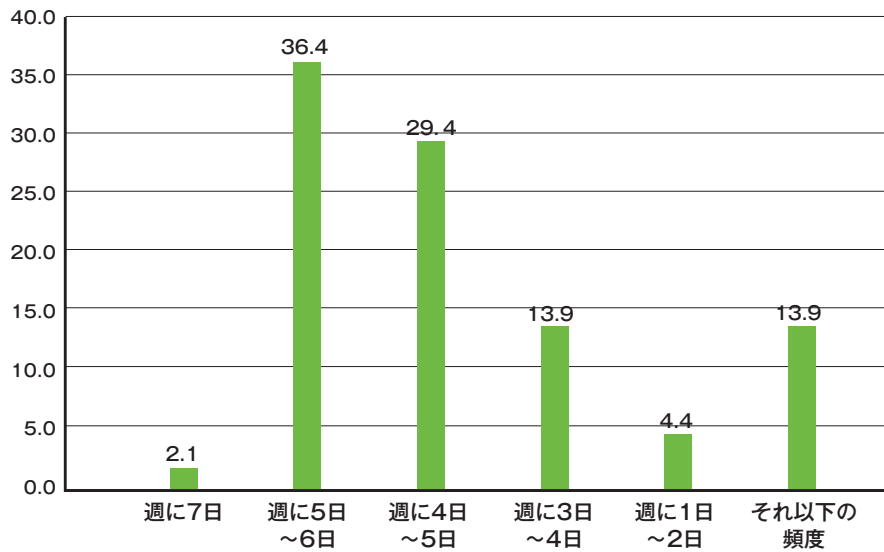
経験したことがあるアルバイトの第1位は、接客業で51.8%と半数以上を占めています。

あなたの先月のアルバイトでの月収を教えてください。



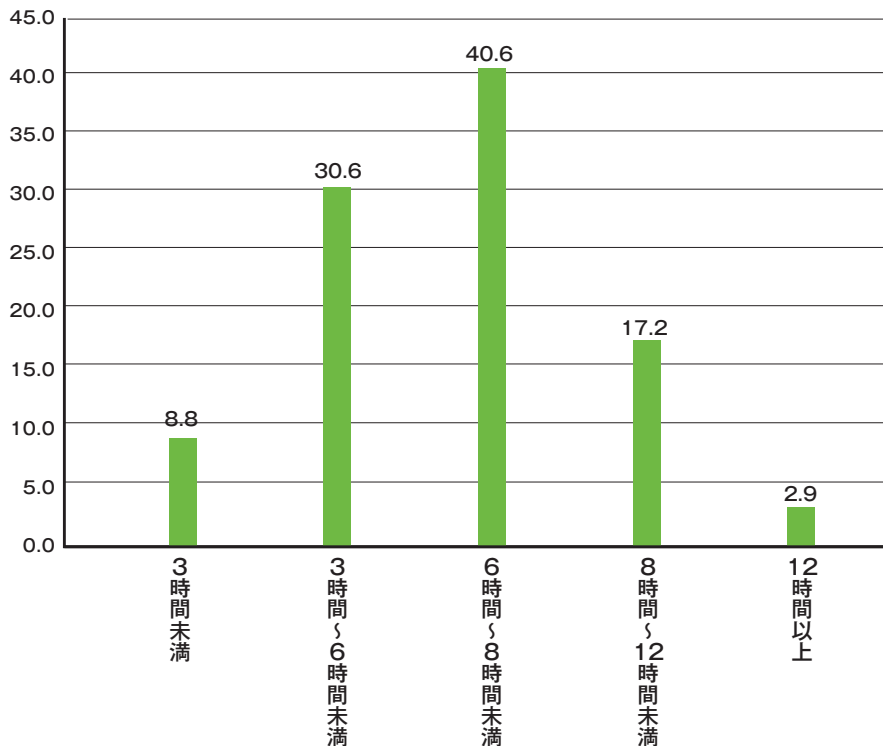
アルバイトの平均月収は答えたくないという回答を除き、2位は20代・30代の男女ともに10万～15万円以下となりました。安定した収入を求めるのであれば、正社員への転換を考慮することも重要と考えられる。

1週間の平均勤務日数



1週間のアルバイト平均勤務日数は、週に5日~6日が36.4%と1位となりました。アルバイト月収が低い分、勤務日数を多くしていることが見受けられます。

1日の平均労働時間



若者・フリーターの1日の平均労働時間は6時間~8時間未満が1位となりました。フルタイムで働いている人が多いことが分かります。

アルバイトで身についたスキル

1位	身についたスキルはない	39.4%
2位	コミュニケーションスキル	25.9%
3位	電話対応	7.4%
4位	ビジネスマナー	6.4%
5位	医療・福祉・介護系スキル	4.1%
6位	営業スキル	3.7%
7位	ホスピタリティ	3.1%
8位	タスク管理スキル	2.3%
9位	教育スキル	2.2%
10位	その他	2.0%
11位	Excelなどのデータ集計スキル	1.5%
12位	WordやPowerPointなどの資料作成スキル	1.3%
13位	マネジメントスキル	0.8%

アルバイトでスキルを身につけるといふ考えは、若者にとってはないようです。

思い描く上司の理想像(複数回答)

男性20～29歳

1位	人柄が信頼出来る	34.1%
2位	いつでも相談出来る雰囲気がある	33.5%
3位	面倒見がいい	28.8%
4位	指示が的確	22.6%
5位	話をよく聞いてくれる	22.3%
6位	あてはまるものはない/わからない	18.4%
7位	知識や経験が豊富	16.8%
8位	仕事の任せ方が的確	16.5%
9位	評価が公平	14.2%
10位	リーダーシップがある	13.1%
11位	判断が早い	8.4%
12位	決断力がある	7.8%
13位	専門性・スキルが高い	6.4%

男性30～39歳

1位	人柄が信頼出来る	41.5%
2位	面倒見がいい	30.4%
3位	指示が的確	30.1%
4位	いつでも相談出来る雰囲気がある	29.3%
5位	話をよく聞いてくれる	20.2%
6位	評価が公平	19.6%
7位	仕事の任せ方が的確	17.0%
8位	リーダーシップがある	16.8%
9位	あてはまるものはない/わからない	13.6%
10位	知識や経験が豊富	12.2%
11位	判断が早い	11.1%
12位	決断力がある	12.0%
13位	専門性・スキルが高い	4.5%

女性20～29歳

1位	人柄が信頼出来る	49.8%
2位	いつでも相談出来る雰囲気がある	39.9%
3位	話しをよく聞いてくれる	28.7%
4位	面倒見がいい	27.7%
5位	指示が的確	27.4%
6位	仕事の任せ方が的確	19.1%
7位	評価が公平	18.0%
8位	知識や経験が豊富	15.9%
9位	リーダーシップがある	10.9%
10位	決断力がある	10.0%
11位	判断が早い	9.3%
12位	あてはまるものはない/わからない	9.0%
13位	専門性・スキルが高い	6.0%

女性30～39歳

1位	人柄が信頼出来る	52.2%
2位	いつでも相談出来る雰囲気がある	42.1%
3位	指示が的確	31.4%
4位	評価が公平	26.1%
5位	話しをよく聞いてくれる	24.1%
6位	面倒見がいい	19.8%
7位	仕事の任せ方が的確	19.5%
8位	知識や経験が豊富	15.8%
9位	決断力がある	9.0%
10位	リーダーシップがある	13.7%
11位	判断が早い	11.3%
12位	あてはまるものはない/わからない	5.3%
13位	専門性・スキルが高い	13.0%

理想の上司像には、20代・30代の男女ともに「人柄が信頼出来る」が1位、「専門性やスキルが高い」は13位となりました。上司に専門性やスキルを求めている人は少ないようです。相談できる環境が身近にあることが若者にとっては理想という結果となりました。

5

親

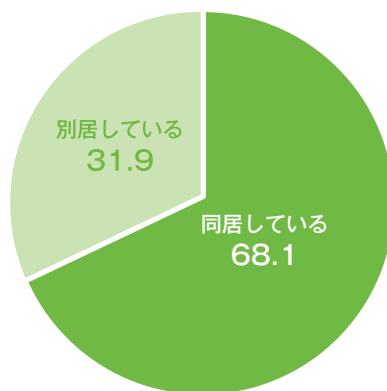
同居について

家に入れるお金について

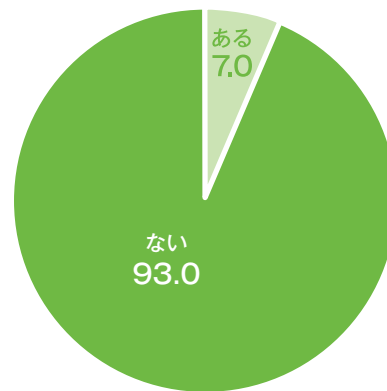
5. 親（同居）について

現在、親と同居している人は68.1%と半数を超えました。31.9%の若者は別居と回答し、93%の若者は親からの仕送りがなくアルバイトで生計を立てています。親と同居しているが、家に1円もお金を入れていない若者は27.9%です。

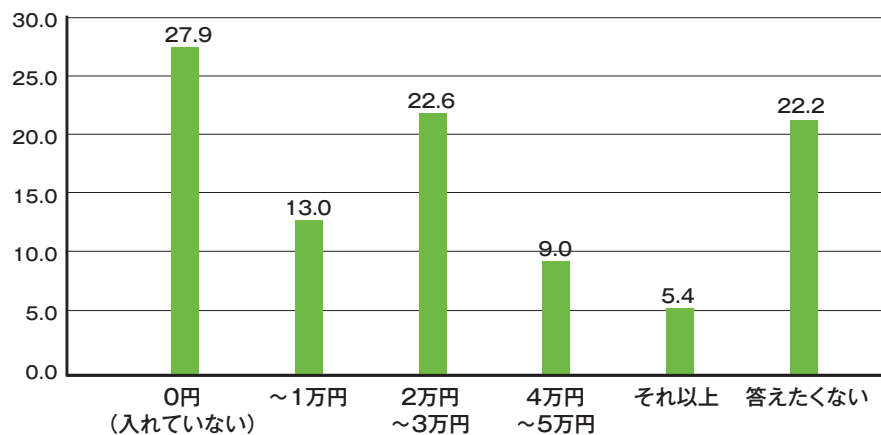
現在親と同居しているか



親からの仕送りはあるか
(別居と回答した方限定)



家に入れる金額 (同居と回答した方限定)



家に1円もお金を入れていない若者は、約30%という結果になりました。

6

フリーター

フリーターになったきっかけ

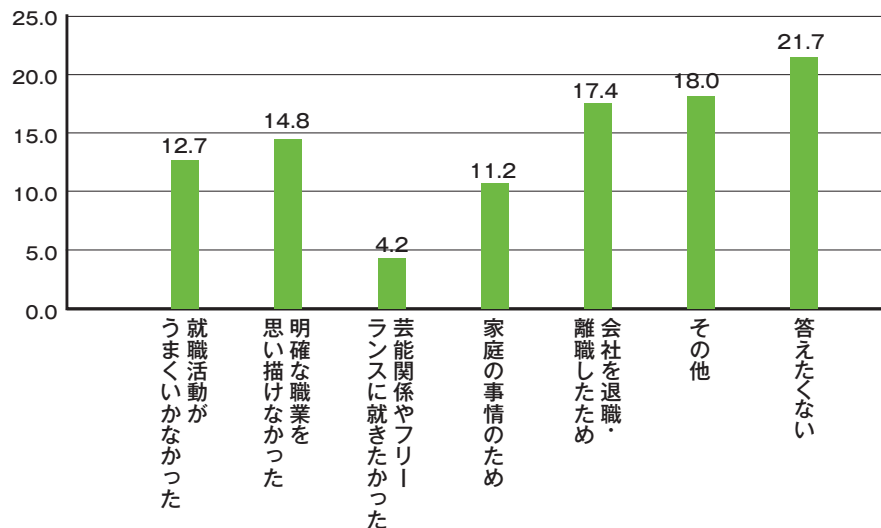
若者が思うメリット

若者が思うデメリット

6.フリーターについて

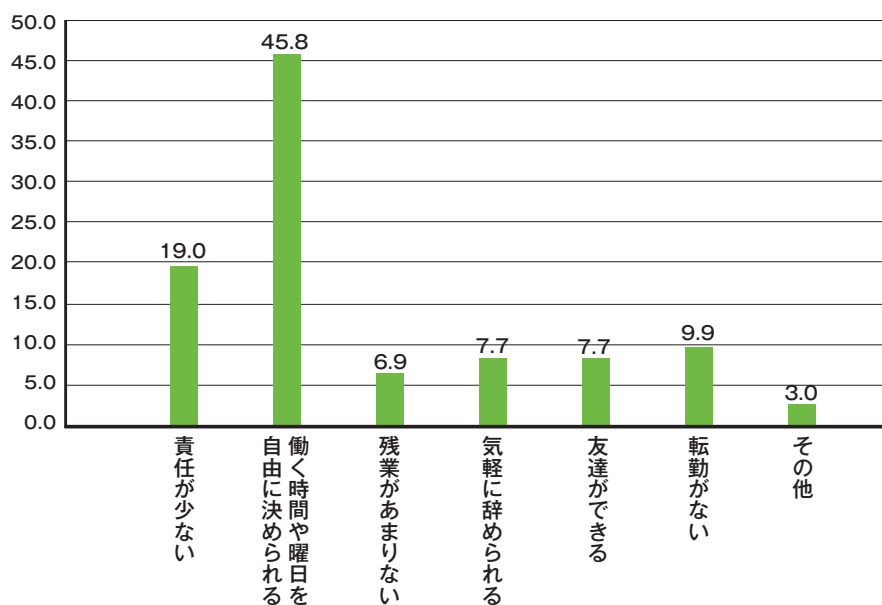
若者が考えるメリットとして1番多くあげられたのは「働く時間や曜日を自由に決められるから」となりました。若者の多くは、勤務日数や勤務時間に縛られることなく、自由な時間を作りたい傾向にあります。

フリーターになったきっかけ



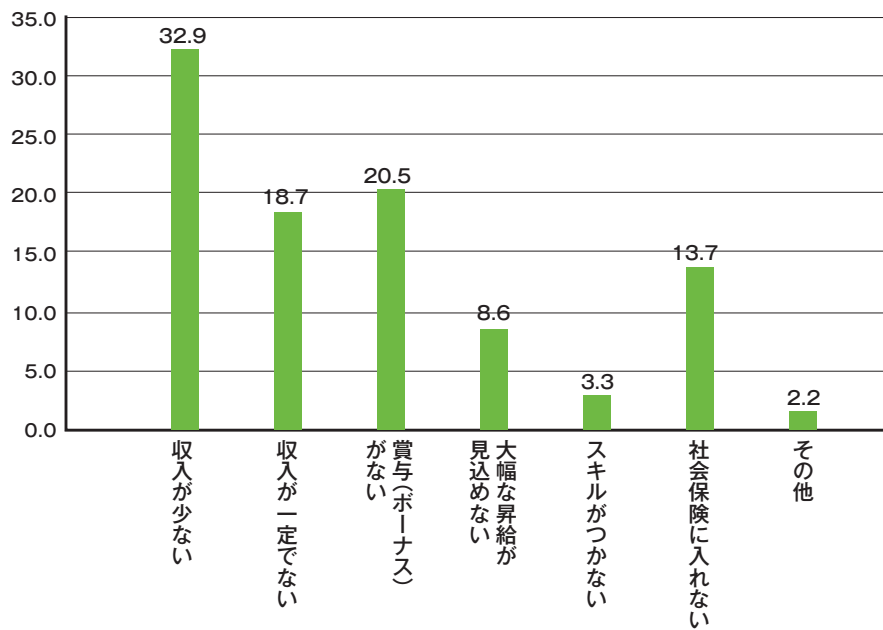
フリーターになったきっかけを答えたくない人は、21.7%います。

フリーターとしてのメリット



働く時間や曜日を自由に決められることに、1番メリットを感じています。

フリーターとしてのデメリット



収入が少ないことが、1番のデメリットとして感じているようです。

7

正社員について

正社員経験について

就職方法について

経験職種について

働いた期間

3年以上働き続けられた理由

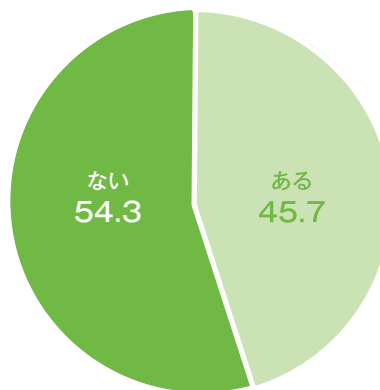
正社員の仕事を退職した理由

退職後起こした行動

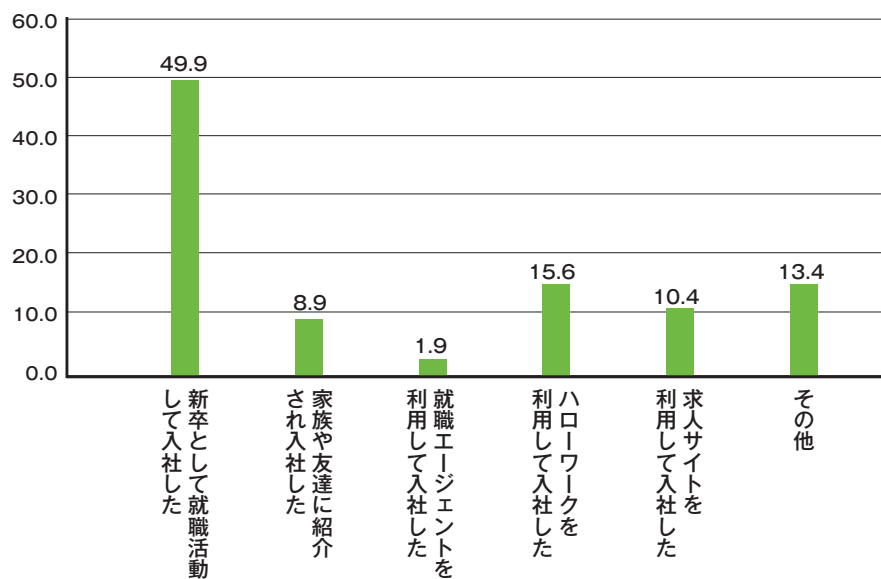
7. 正社員について

若者の45.7%が正社員経験があると回答。正社員を経験したことがある約半数が新卒として就職活動し、正社員入社をしています。経験職種は、接客業・販売業が1位です。5年以上働いている若者は一定数をいるものの、退職後にフリーターとして過ごす人が一定数います。

正社員経験があるか

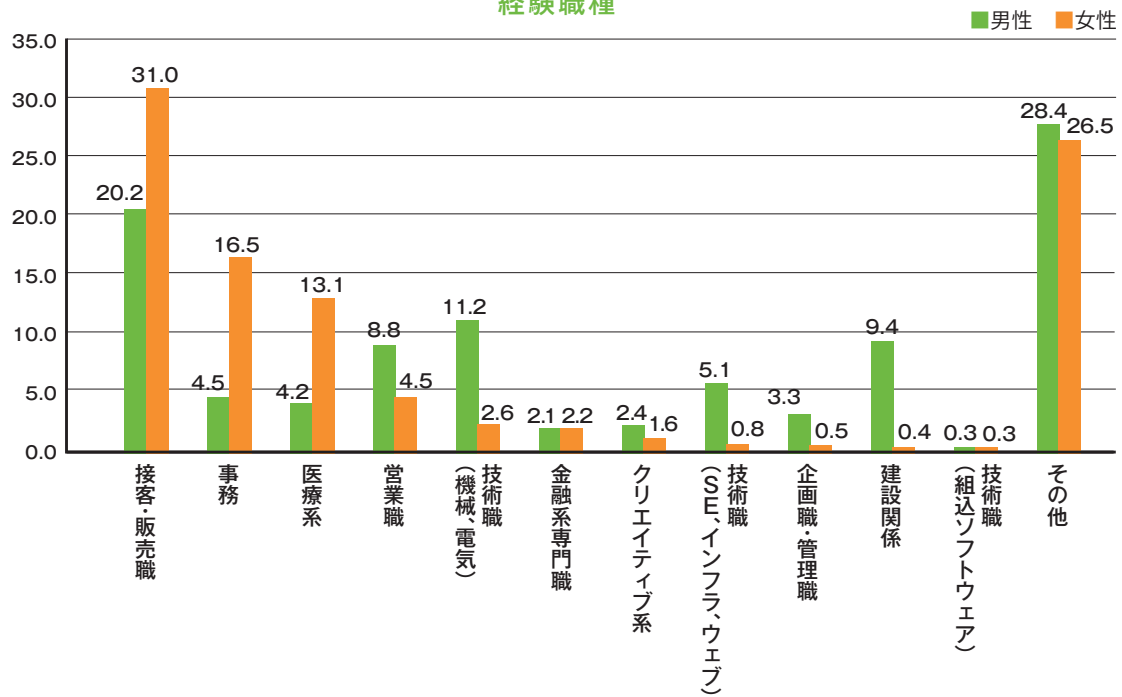


どのような方法で就職したか



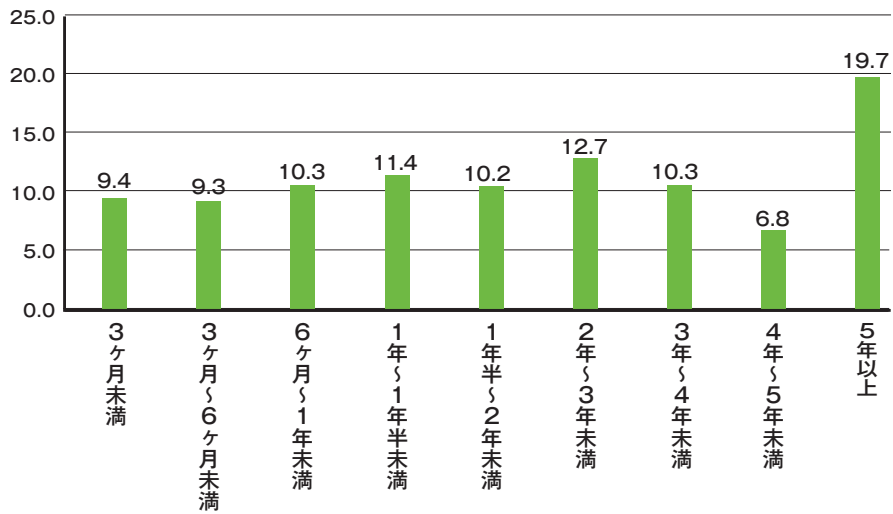
新卒として正社員入社をしている人は約50%です。

経験職種



経験職種はその他を除き、男女ともに接客・販売職が上位にあがりました。

正社員として働いた期間



正社員として働いた期間は、5年以上が約20%と1位です。

3年以上働き続けられた理由

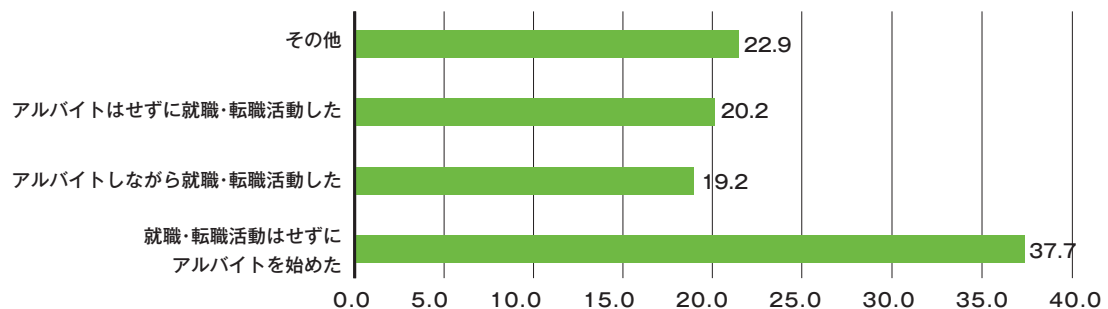
1位	生活のため	40.0%
2位	当てはまるものはない	14.1%
3位	仕事にやりがいがあったため	13.5%
4位	やりたい仕事他に見つからなかったため	9.4%
5位	働く環境が良かったため	9.1%
6位	自分の将来のため	7.9%
7位	給与が魅力的だったため	2.9%
8位	社会へ貢献するため	1.5%
8位	支えてくれる人がいたため	1.5%

正社員の仕事を退職した理由

1位	答えたくない	17.4%
2位	健康上の理由	16.5%
3位	労働環境・時間が不満だった	12.1%
4位	家庭の事情	11.8%
5位	その他	10.9%
6位	人間関係がうまくいかなかった	9.1%
7位	上司や経営層のしごとの仕方が気に入らなかった	7.9%
8位	給与が低かった	6.2%
9位	思っていた仕事内容と異なった	2.9%
10位	社風が合わなかった	2.1%
11位	キャリアアップができなかった	1.8%
12位	評価が不平等だった	1.5%

正社員として働いた期間は5年以上と回答した若者が多く、長く続けられた理由として「生活のため」が40.0%と1位になりました。正社員を退職した理由を答えたくない人が17.4%と多く、2位には「健康上の理由」があげられています。

正社員の仕事を退職直後、どのような行動を取ったか



約38%の若者が正社員の仕事を退職したあと、転職活動はせずにアルバイトを始めたと回答しました。正社員の仕事を退職した後にフリーターになった人が多いことが見受けられます。

8

就職について

現在の就職活動の状況

志望している業界について

就職先の探し方

就職の際に最も重要視している条件

就職活動で不安なこと

面接で不安なこと

最もアピールできそうな経験

自身が考える企業が見ている評価ポイント

就職活動前に1番身につけたいこと

就職先で実現したいこと

就職時のモチベーション

正社員のポジティブイメージ

正社員のネガティブイメージ

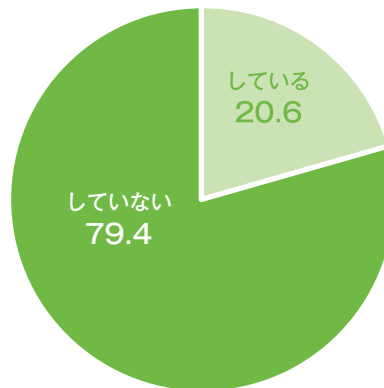
企業の評判の判断基準

ブラック企業のイメージ

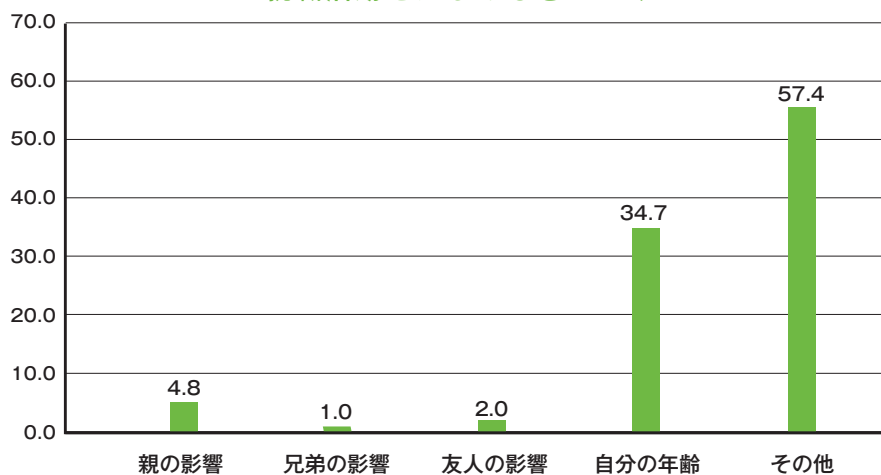
8. 就職について

現在、就職活動をしていない若者は約8割を超える。

現在の就職活動の状況

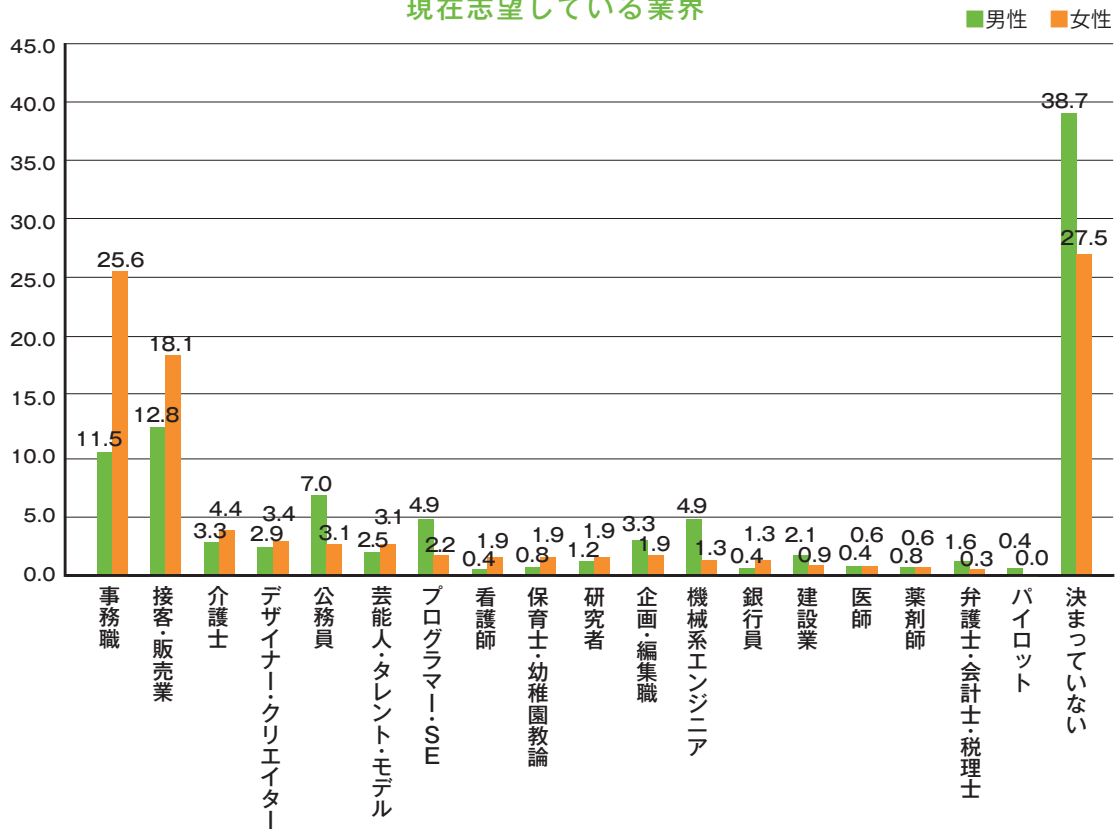


就職活動をはじめのきっかけ



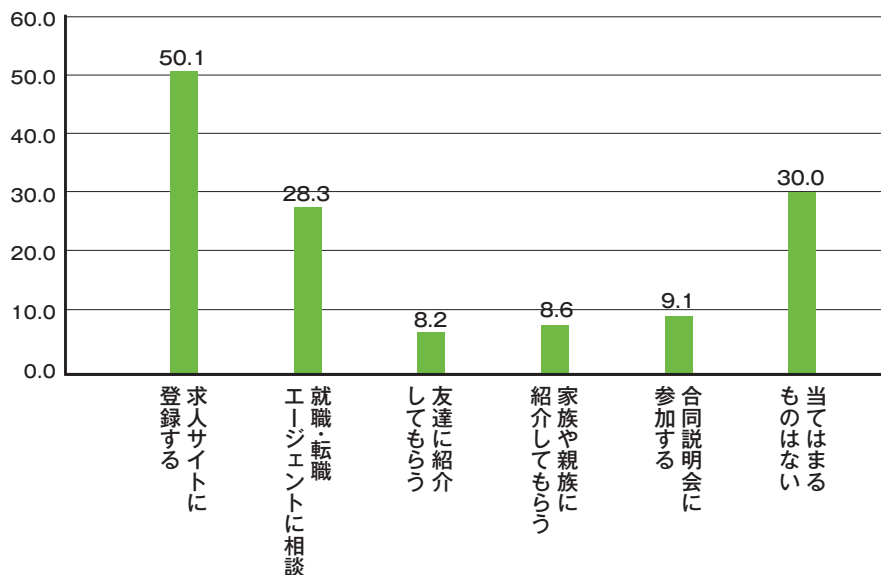
現在就職活動をしていないと回答した若者は、約80%と大多数を占めています。就職活動をはじめのきっかけとして、その他の回答を除き「自分の年齢を気にして就職活動をする」と回答した若者が約35%という結果になりました。

現在志望している業界



現在志望している職業が決まっていない若者は多く、事務職を選んでいる女性は25.6%と2位になりました。

就職先の探し方



就職先の探し方では、求人サイトに登録してから就職活動を始めると若者が多く、友だちや家族に仕事を紹介してもらうケースは少ないことが見受けられます。

就職の際に最も重要視している条件

総合

1位	労働環境が良いこと	17.4%
2位	福利厚生が充実していること	16.5%
3位	給与が高いこと	12.1%
4位	わからない	11.8%
5位	労働時間	10.9%
6位	休日数が多いこと	9.1%
7位	有給休暇がきちんと取れること	7.9%
8位	その他	6.2%
9位	残業時間が少ないこと	2.9%
10位	離職率が低いこと	2.1%

男性20～29歳

1位	労働環境が良いこと	30.3%
2位	福利厚生が充実していること	15.2%
3位	あてはまるものはない/わからない	14.1%
4位	給与が高いこと	10.1%
5位	労働時間	8.1%
6位	有給休暇がきちんと取れること	6.1%
6位	残業時間が少ないこと	6.1%
7位	休日数が多いこと	5.1%
8位	その他	3.0%
9位	離職率が低いこと	2.0%

男性30～39歳

1位	労働環境が良いこと	27.4%
2位	給与が高いこと	17.9%
3位	休日数が多いこと	11.9%
4位	福利厚生が充実していること	8.3%
4位	有給休暇がきちんと取れること	8.3%
5位	あてはまるものはない/わからない	8.3%
6位	離職率が低いこと	4.8%
7位	残業時間が少ないこと	3.6%

女性20～29歳

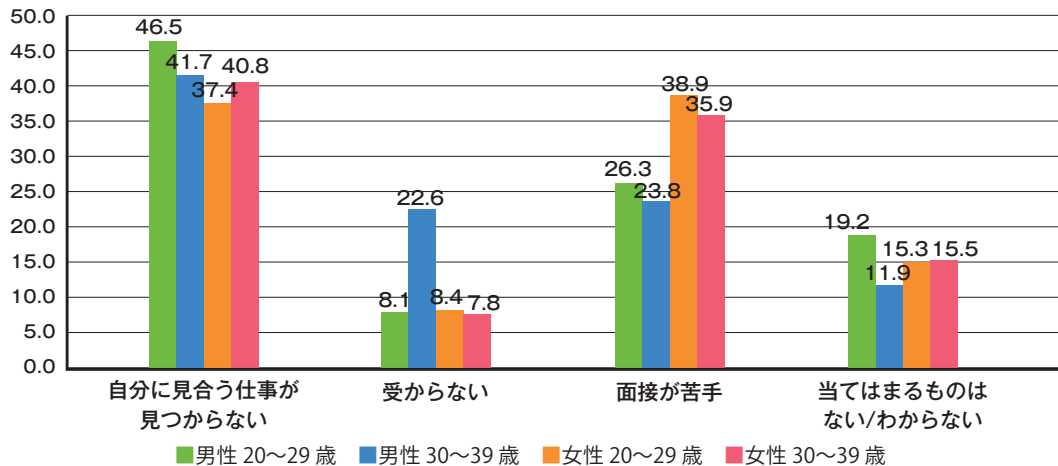
1位	労働環境が良いこと	23.7%
2位	福利厚生が充実していること	22.1%
3位	給与が高いこと	12.2%
4位	休日数が多いこと	8.4%
4位	労働時間	8.1%
5位	その他	7.6%
5位	あてはまるものはない/わからない	7.6%
6位	離職率が低いこと	1.5%
8位	残業時間が少ないこと	5.3%
9位	有給休暇がきちんと取れること	3.1%

女性30～39歳

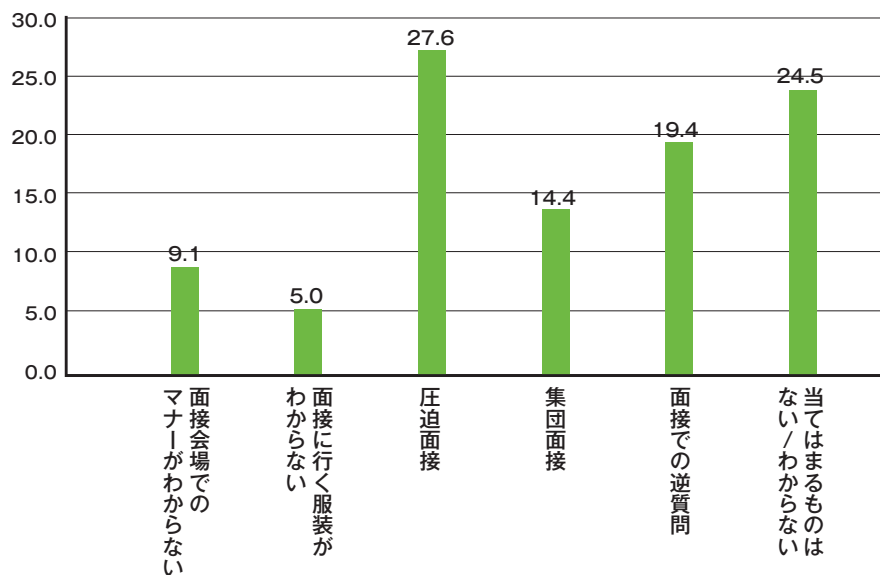
1位	労働環境が良いこと	27.2%
2位	給与が高いこと	19.4%
3位	労働時間	10.7%
3位	福利厚生が充実していること	10.7%
4位	有給休暇がきちんと取れること	8.7%
5位	離職率が低いこと	5.8%
6位	あてはまるものはない/わからない	6.8%
7位	休日数が多いこと	4.9%
8位	残業時間が少ないこと	2.9%
8位	その他	2.9%

就職する際に最も重要視しているのは、20代・30代の男女ともに「労働環境が良いこと」でした。20歳～29歳の男性・女性の2位には「福利厚生が充実していること」があげられました。企業側もワークライフバランスや福利厚生の制度が充実した企業の体制を整えていくことが、人材にアピールできるポイントを作る上でも重要になってくると考えられます。

あなたが就職活動で最も不安に思っていることを教えてください。

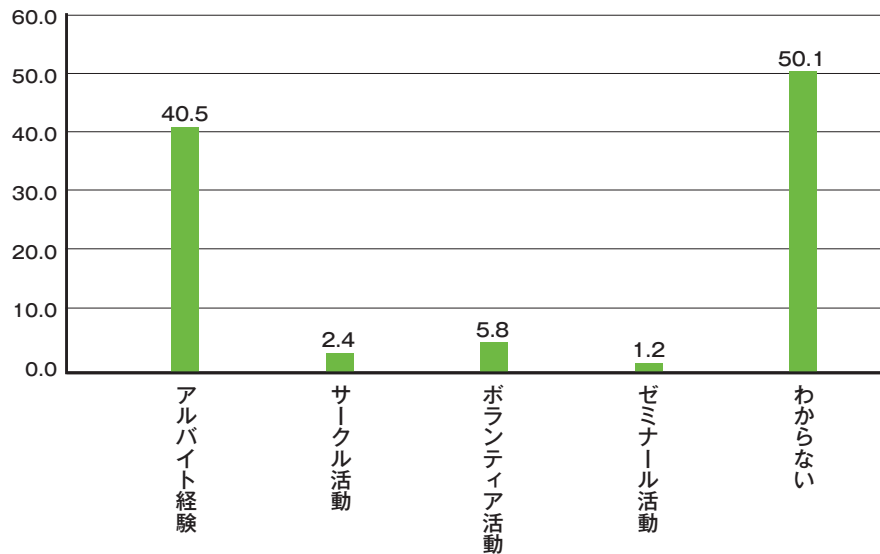


面接で最も不安に思っていること



就職活動を始めるときに最も不安なことを聞いてみると「自分に向く仕事が見つかるかどうか分からない」が1位となり、41.2%を占めています。2位には、面接が苦手と回答する若者が多く、面接慣れしていないことが伺えます。実際に面接で最も不安なことを聞いてみると、圧迫面接に不安を感じている若者が多くいます。

面接で最もアピールできそうな経験



面接で自分が最もアピールできそうな経験を聞いてみると「わからない」と答えた人は約50%という結果になりました。自分が面接でアピールするべきポイントが分からない人が多いようです。

企業が見ている評価ポイントはどのようなものだと考えているか

1位	コミュニケーション能力	51.6%
2位	協調性	33.6%
3位	責任感	30.2%
4位	チャレンジ精神	23.5%
5位	誠実さ	20.6%
6位	柔軟性	19.2%
7位	誠実さ	18.0%
8位	当てはまるものはない	14.9%
9位	主体性	9.4%
10位	専門スキル	9.1%
11位	創造性	6.5%
12位	論理性	5.0%
12位	潜在能力	5.0%
13位	リーダーシップ	4.8%

若者が思う企業からの評価ポイントの半数は「コミュニケーション能力」を占めました。

就職活動前に1番身に着けたいこと

1位	自己アピールが出来るようになること	28.5%
2位	最低限のマナーや礼儀	19.2%
3位	資格の取得	18.2%
4位	わからない	18.0%
5位	面接練習で面接慣れしておくこと	7.7%
6位	アルバイト経験	5.0%
7位	その他	1.4%
8位	インターシップ経験	1.2%

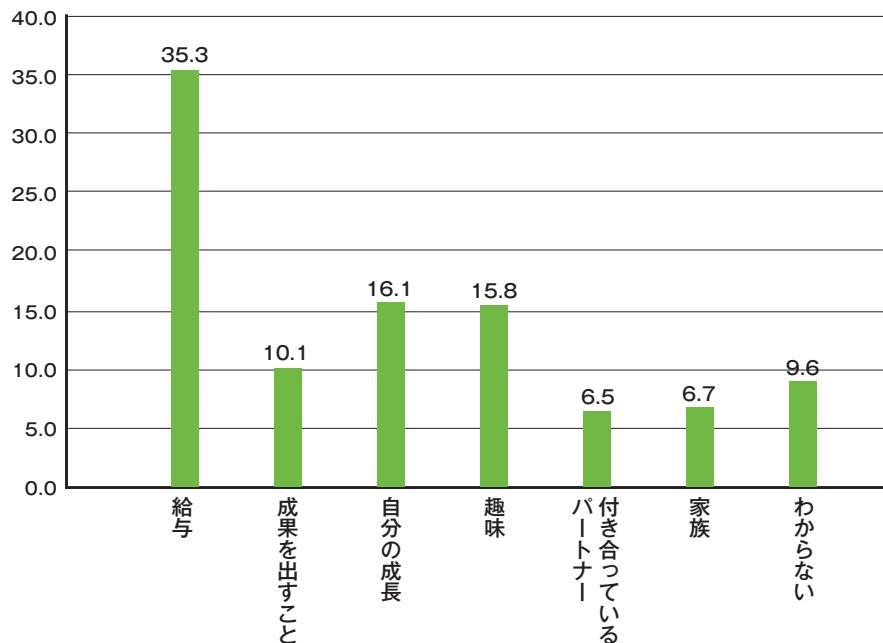
就職活動前に1番身につけたいことは「自己アピールが出来るようになること」でした。自己アピールでは、自分が持つ強みの中でも企業が求めているものをアピールすることが大事になります。

就職先で実現したいこと

1位	人間関係がいい職場で働き続けること	50.1%
2位	給与をもらうこと	42.2%
3位	プライベートを充実できること	36.2%
4位	自分が成長できること	30.5%
5位	自分の能力を活かせること	24.7%
6位	人・社会の役に立つこと	21.6%
7位	専門スキルが身につくこと	15.3%
8位	新しいことにチャレンジ出来ること	8.9%
9位	わからない	10.1%
10位	成果を出すこと	8.9%

就職先で実現したいことの5割は、人間関係がいい職場で働き続けることがあげられました。給与をもらうことよりも人間関係を重視していることが分かります。

就職時のモチベーション



給与をもらうことが、仕事へのモチベーションにつながるようです。

正社員になるポジティブなイメージ

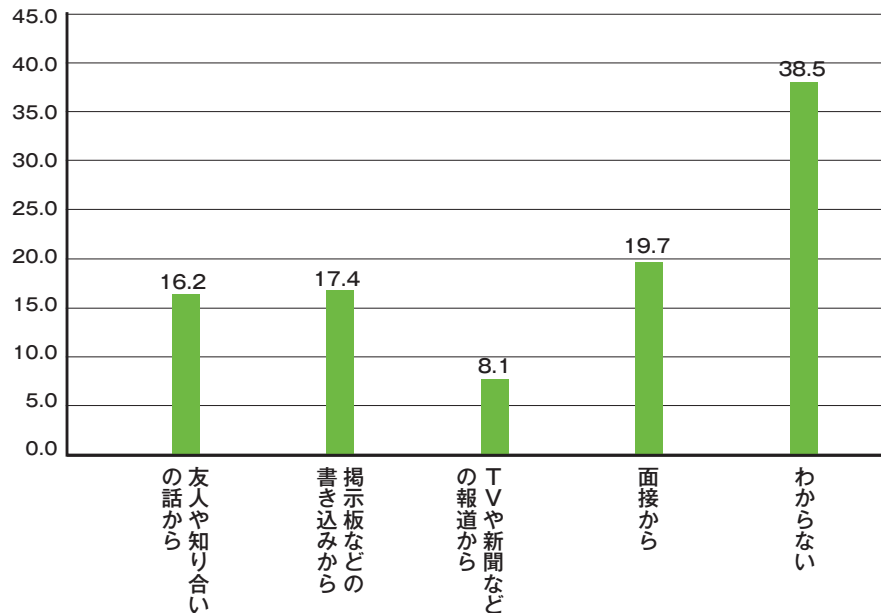
1位	安定した収入が得られる	71.1%
2位	厚生年金や雇用保険に加入出来る	45.1%
3位	社会的な信用が得られる	38.5%
4位	スキルが身につく	16.4%
5位	雇用期間の定めがない	14.8%
6位	転職時に履歴書に書きやすい	10.6%
7位	キャリアアップしやすい	10.2%
8位	仕事の裁量が大きい	4.5%

正社員になるネガティブなイメージ

1位	責任が重くなる	57.6%
2位	休日出勤や残業がある	44.4%
3位	転職の可能性はある	31.3%
4位	上司から怒られる	23.2%
5位	朝が早い	19.9%
6位	わからない	18.6%
7位	仕事が覚えられない	17.4%

正社員になるポジティブなイメージの1位は「安定した収入が得られる」が70%を超え、正社員の責任の重さをネガティブイメージとして捉えている人が多いようです。

企業の評判を判断するとき、どの情報を最も信頼するか



TVや新聞などの報道よりも、面接で実際に採用担当に会ってから企業の評判を判断する人が多いようです。

ブラック企業のイメージ

- 1位 残業代が支給されない……………59.1%
- 2位 パワハラやセクハラがある……………48.4%
- 3位 有給休暇を取得できない……………35.7%
- 4位 人間関係が悪い……………35.0%
- 5位 離職率が高い……………29.1%
- 6位 成果を出さないと追い込まれる……………27.7%
- 7位 評価が公平でない……………19.0%
- 8位 わからない……………8.9%
- 9位 ネットの評判が悪い……………5.3%

ブラック企業という言葉でイメージできるのは「残業代が支給されない」ことが1位にあげられました。昨今話題になっているパワハラやセクハラは2位という結果になりました。

まとめ

●高校卒業後にフリーターになる人が一定数存在

高校卒業後の進路では、大学進学した若者は約30%存在するが、何らかの理由で中退し、フリーターになった人が一定数存在する。

●最終学歴が高校卒業者が半数を超える

最終学歴では高校卒業者が44.5%を超え、大学卒業者の割合は19.7%。出身高校の半数以上が普通科を卒業している。

●スマートフォンで情報収集が一般的

新聞を全く読まないと回答した若者は59.0%と半数を超え、新聞で情報収集することに関して積極的ではない。若者が利用している主なニュースサイトは「yahoo!ニュース」「LINEニュース」が上位にランクイン。

●スマートフォンに依存する若者が増えると予想

直近1ヶ月の休みにしたことは買い物に行くが64.9%ではあるが、2位には YouTube を見るが58.6%。現在は、スマートフォンで映画やドラマ、アニメ等が鑑賞できる時代になっており、若者はスマートフォンに依存する傾向がありそうです。

●若者は恋愛に対して積極的

交際相手はいないが、交際相手を欲しいと答えている若者は37.0%にとどまり、恋愛に積極的である。

●若者のアルバイト経験、接客業が1位

若者の半数以上は、アルバイトで接客業を経験しており、週5～6日勤務が平均。1日の平均勤務時間は6時間～8時間未満であり、平均月収は10万～15万円以下。安定した収入を求めるのであれば、正社員への転換を考慮することも重要になる。

●上司に専門性やスキルは求めず、人柄が信頼出来る人が理想

理想の上司には人柄が信頼出来るが46.6%と1位になり、専門性やスキルはそこまで求めていない。スキルよりも、何か問題が起こってしまったときや、困りごとがある場合に、相談できる環境が身近にあることが若者にとっては理想である。

●半数以上が親と同居、家にお金を1円も入れていない若者は約30%

現在、親と同居している人は半数を超えたが、家に1円もお金を入れていない若者は27.9%と1位に。別居している人は基本的に仕送りはなく、アルバイトで生計を立てている。

●若者が考えるフリーターのメリットは働く時間や曜日を定められること
若者の多くは、勤務日数や勤務時間に縛られることなく、自由な時間を作りたい傾向にある。若者が考えるフリーターのデメリットの1位には、収入が少ないことがあげられた。

●正社員経験をしている若者の経験職種は接客・販売業が1位
若者の約50%は、新卒として就職活動し入社。経験職種はその他を除き、男女共に接客・販売業が1位となった。

●正社員として働いた期間は、5年以上が1位
5年以上働き続けている若者は多く、長く働き続けられた理由として「生活のため」が40.0%と1位にあげられた。正社員の仕事を退職した理由は「答えたくない」と回答した若者は17.4%、2位には16.5%で健康上の理由があげられた。

●正社員の仕事を退職後にフリーターに
約38%の若者が正社員の仕事を退職したあとに、就職・転職活動はせずにアルバイトをはじめたと回答。正社員の仕事を退職後にフリーターになる若者が多い。

●若者（フリーター）の8割は、現在就職活動をしていない
自分の年齢を気にして就職活動を開始すると考えている若者が多く、2018年11月段階で志望している職業が決まっている人は男女ともに少ない。就職先の探し方は、求人サイトに登録をする若者が多く、友達や家族などに仕事を紹介してもらうケースは少ない。

●不安に思っていることは自分に合う仕事が見つかるか・圧迫面接
就職活動時に若者が不安に思っていることの1位に「自分に合う仕事が見つかるか」、面接時に不安なことの1位には「圧迫面接」があげられた。若者は、面接慣れしていないことが伺える。面接で最もアピールできそうな経験では、分からないと回答した若者が50%を超え、面接で自分のことをどのようにアピールしていいかが分からない若者が多い。

●給与よりも人間関係がいい職場で働きたい
若者が就職先で実現したいことの5割は「人間関係がいい職場で働きたい」こと。給与よりも、人間関係を重視している。

●正社員になると安定した収入が得られるが、責任が重くなる
正社員になるポジティブなイメージの1位には「安定した収入が得られる」が70%を超え、正社員になるネガティブなイメージとしては「責任が重くなること」が1位にあげられた。

●ブラック企業のイメージは残業代が支給されない
ブラック企業のイメージの1位には、残業代が支給されないが多く、昨今で話題になっているパワハラ・セクハラは2位にあがった。

若者しごと白書

2018

調査概要

調査目的：20代30代フリーターの、生活と仕事の実態を把握

調査期間：2018/11/16~2018/11/19

調査方法：インターネット調査

調査対象：20歳~39歳 男女

2018年11月時点で満20歳~39歳の、
アルバイト・パートタイマーで生計を立てている、
もしくはアルバイト・パートタイマーで働く意志のある無職の男女。

サンプル数：2027s

男性 20歳~29歳 358s

男性 30歳~39歳 352s

女性 20歳~29歳 654s

女性 30歳~39歳 663s

発行年

2019年2月

レバレッジズ株式会社

ハタラクティブ